

2023年5月12日

各 位

会 社 名 パ ン チ 工 業 株 式 会 社
 住 所 東 京 都 品 川 区 南 大 井 六 丁 目 22 番 7 号
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 CEO 森 久 保 哲 司
 (コード番号：6165 東証プライム)
 問 合 せ 先 経 営 戦 略 室 広 報 I R 課 長 松 田 隼 人
 TEL. 03-5753-3130

プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更）及び スタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月10日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。今般、2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況及び適合に向けた計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。また、直近でのプライム市場の上場維持基準への適合状況を踏まえ、2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所の規則改正に伴い、スタンダード市場への上場の再選択の機会が得られたことから、本日開催の取締役会においてスタンダード市場へ選択申請することを決議するとともに、申請いたしました。

なお、スタンダード市場への選択理由及びスタンダード市場の上場維持基準への適合状況については、下記の通りです。

記

1. プライム市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなり、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (万円)
当社の 適合状況	2021年6月 末時点	4,757	144,460	87.8	65.3	4,088
	2023年3月 末時点	5,728	177,440	79.0	72.0	4,451
上場維持基準		800	20,000	100	35.0	2,000
計画期間		—	—	2025年3月末	—	—

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。(1日平均売買代金については、2022年10月～2023年3月の平均売買代金を当社で試算し算出しております。)

2. プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取組みの実施状況及び評価（流通株式時価総額）

流通株式時価総額の向上を企図し、2021年12月には中期的な視野に立った成長戦略実現のための資金を調達するために、現状の財務基盤を維持・強化しつつ企業価値向上に資するエクイティ性の資金調達を実施しました。

また、2022年3月には2022年度から2024年度の3ヵ年を計画期間とする新・中期経営計画「バリューク

リレーション（以下、VC）2024」を公表し、ものづくりにおける自動化・省人化需要を新たな成長エンジンにして、常に「お客様の第一候補」であり続けることを「当社のありたい姿」として設定し、重点経営課題として「新規・既存事業の拡大」「生産体制の強化」「R&D強化」の3つを掲げるとともに、それらの課題への取組みを支える経営基盤の強化策として「DX推進」「財務戦略」「サステナビリティ」に取り組んでまいりました。

さらに、2023年1月には当社グループが新たな成長フェーズへの移行を目指す中、株主の皆様に対する利益還元を最重要施策の一つとして再認識し、資本政策の基本方針及び株主還元方針の見直しを実施、配当額決定のための指標として「連結配当性向 30%以上、かつ株主資本配当率（DOE）3%以上」を新たに設定いたしました。

これらの取組みにより、流通株式比率は上昇したものの、流通株式時価総額については、2023年3月末時点で上場維持基準を充足出来ておりません。

3. スタンダード市場への選択理由

世界的な地政学リスクの高まり、原材料・資源価格の高騰や部品不足等により、経営環境が厳しさを増す中、中期経営計画「VC2024」については大幅な遅れを余儀なくされており、当社としては、これまでの遅れのリカバリーに加えて、今後の新たな成長戦略も含めた計画のブラッシュアップが必要であると考えております。かかる状況下、プライム市場の上場維持のための施策よりも、この「VC2024」のブラッシュアップと、その実行に経営資源を集中すべきであると考え、スタンダード市場を選択することといたしました。

なお、「VC2024」のブラッシュアップ内容については、決定次第速やかに開示いたします。

4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

2023年3月末時点におけるプライム市場の上場維持基準で適合していなかった流通株式時価総額について、スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりであり、前期下半期（2022年10月～2023年3月）の月平均売買高基準も当社試算において10単位以上であり、スタンダード市場の全ての上場維持基準に適合している状況にあることから、今後、上場維持基準の各項目の判定基準日時点において、同市場の上場維持基準のいずれかに適合しない状況とならない場合、「スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画」の開示の必要はありません。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	純資産の額 (億円)
当社の状況 (2023年3月末時点)	5,728	177,440	79.0	72.0	190.5
スタンダード市場の 上場維持基準	400	2,000	10	25.0	正

当社といたしましては、スタンダード市場上場会社となった以降においても、引き続き資本コストや株価を意識した経営に注力し、「3. スタンダード市場への選択理由」に記載のとおり、ブラッシュアップされた中期経営計画に経営資源を集中し、さらなる企業価値向上へ向けて取り組んでまいります。

以上